

プログラム名 (40字以内)	離島で教育活動しよう～奄美群島 瀬戸内町でのキャリア支援～		
団体名/所属	【本学学生】特定非営利活動法人FOS (活動指導教員:教育学研究科学校教育高度化専攻 教授 勝野 正章(FOS顧問))		
活動区分	フィールドワーク体験活動, ボランティアなどの社会貢献活動	希望する選考方法	書類審査後に面接
募集人数	7人程度	選考対象	大学院学生を含む
活動方法	現地活動のみ		
参加者に求めるもの	特になし		
活動期間	2025/8/5(火)～8/8(金)	主な活動予定場所	瀬戸内町
プログラム実施の目的	離島に暮らす子どもたち(小学生～高校生)に対するキャリア支援活動を行い、子ども・教育支援を通じた地域貢献・地方創生について考察する。		
具体的な内容(800字程度)	瀬戸内町は、鹿児島県大島郡に位置し、奄美群島を構成する自治体の一つである。同町は奄美大島南端部および加計呂麻島、請島等の離島から構成され、奄美大島の固有種を含む多様な生態系を有する自然環境に恵まれた地域である。 一方で、教育環境の観点からは課題が存在する。例えば町内における高校は鹿児島県立古仁屋高等学校一校のみであり、生徒が多様なキャリアパスを検討する上で必要となるロールモデルの不足が指摘されている。瀬戸内町では次世代育成及び未来のまちづくりに向けた施策として、児童・生徒が主体的に地域課題を発見・分析し、まちづくりに関する政策を提言する「子どもサミット」を開催している。このような取り組みにおいては、探究的学習の方法を子どもたちに身につけてもらい、実践してもらうことが非常に重要である。これらの現状を踏まえ、子どもサミットの開催に合わせて、8月に3泊4日の日程でキャリア支援プログラムを実施する。 具体的には、以下のような活動を行う。 ・高校生とのキャリア探索ワークショップ ・勉強法や、進路の決め方など、自身の経験についてのトークセッション ・子どもサミットに向けた、探求学習における小中学生への支援 ・子どもサミットでのモデレーター 本プログラムは、離島地域における教育機会の質的向上に資することを目的とし、次世代を担う児童・生徒の育成支援を通じて地域社会の持続的発展に寄与することを企図するものである。大学生の皆さんには本プログラムを通じ、離島での教育について、子ども支援及びそれを通じた地域貢献について考察していただきたい。		
【総額】参加するための費用	55,000円＋食費等		
【内訳】参加するための費用 (宿泊費)	15,000円程度		
【内訳】参加するための費用(交通費)	25,000円程度(飛行機代による)		
【内訳】参加するための費用(その他)	現地活動費15,000円(現地での交通費や会場費、備品等)食費等		
奨励金額(予定)	25,000円		
備考	特になし		
活動に関する関係資料の ダウンロードサイト	現在準備中 (https://npofos.or.jp/setouchi)		
応募団体を紹介するウェブサイト 等(団体で応募の場合)	https://npofos.or.jp		
この企画に対する担当者 (応募団体)の参加の有無	参加する		